

平成31年度（令和元年）自己評価書・学校関係評価書

真庭市立 草加部幼稚園

1. 草加部幼稚園の教育目標

○教育目標 心身ともに たくましく 心豊かな子どもを育てる
○めざす幼児像 ・明るく元気な子ども ・思いやりのある子ども ・よく考える子ども

2. 本年度の重点目標（課題）

○互いに認め合い、育ち合う幼児の育成 ・少人数、異年齢の良さを生かす保育づくり
--

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価	学校評議員評価
教育課程・指導計画	教育目標に沿った保育に取り組んできたが、保護者の周知が今一步であり、更なる働きかけが必要である。	3	3
行事	子どもにとって必要な行事か、回数や内容・ねらいは適切か再検討し、実施した。	4	4
組織・運営	職員2名相互に協力し合い、小学校とも連携を取りながら、運営している。	4	4
学級経営	子どもの気持ちを受け入れ、丁寧な保育ができていると、保護者のアンケート評価も高い。	4	4
特別支援教育	該当の保護者から、保育への評価はあり、子どもの成長も感じているが、就学指導への理解が得られなかった。	3	4
食育の推進（給食）	日々の給食指導や、野菜の栽培などを通して、食の楽しさを伝えてきた。	4	4
安全管理・保健指導	危険を予見できることに迅速な対応を行い、安全管理に努めているが、不審者対応などに課題も残る。	4	4

研修（資質向上）	園内・園外の研修に積極的に参加し、職員間で共有し、日々の保育に取り入れている。	4	4
情報提供 保護者・地域との連携	少人数の良さを活かし保護者との連携は密であり、地域の協力も大きい。	4	4
小学校との接続・連携	幼児と児童の交流も日常的にあり、密な連携がある。	4	4
子育て支援	担当課や保健師等と連携をとりながら、保護者を支援している。	4	4

4. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等

（学校関係者評価委員総合所見含）

我が園の特徴でもある小学校や地域との連携や大きな協力のもと、教育活動を行ってきた。

園児数が少ない現状に対しては、利点を生かし一人ひとりへの丁寧な関わりによる個の育ちがあり、また課題についても、いろいろな人との交流などを通して幼児の育ちが見られている。

安全管理については、危険に対して迅速に安全対策を講じ事故なく過ごせているが、不審者対応などでは、課題も残る。

学校関係者評価委員からは、全体的に良くできているとの評価をいただいた。

6. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

生活発表会を小学生が見に来ており、大変良いと思ったとの評価をいただき、今後も幼児の育ちにつながるよう小学校との連携を図っていきたい。

安全管理については、2人の職員では不審者対応など難しい点もあるが、小学校との協力体制をさらに深めて、防犯対策を行ってほしいとのご意見をいただいたので、幼稚園側から不審者が来た場合の避難訓練や小学校への協力依頼を行いたい。また、幼稚園から小学校への緊急連絡ツールとして、インターホンなどの設置も必要ではないかとの助言を頂き、検討していきたい。

学校評議員・園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である